

イ 学習指導プラン及び実践成果

●学習指導プラン

【ベーシック探究】

学習内容	学年全体への指導の中でフィールドワーク事業の目的や内容を理解し、自分が興味・関心のある研修先を決定する。		
ねらい	事業目的や研修を通して備えて欲しい力を明示し、主体的に取り組ませることがねらいである。また、日本や県のエネルギー事業について学び、今後のエネルギー施策や未来の福島の姿を主体的に考える契機とする。		
段階	学習活動・内容	時間	○ 指導上の留意点 評価（評価方法）
問題把握	パワーポイントによる説明を聞き、「世界の中の日本」、「日本の中の福島県」という視点で、現在のエネルギー事情を知る	10	○ OECD加盟国の中での日本のエネルギー自給率の低さを知り、エネルギー問題を自分ごとと捉えさせる。 主体的・積極的に耳を傾けているか。 発問に積極的に答えているか。
問題追究	県の再生可能エネルギー推進に関する施策を学び、再生可能エネルギーの種類やその特徴について知り、県内の事業所についての説明を聞く	15	○ 原子力発電所の事故にも触れながら、福島県は日本の中でも再生可能エネルギーを積極的に推進している県であることを理解させる。 ○ 再生可能エネルギー推進のために、それぞれの場所で特徴的な発電や関連する研究を行っていることを広く紹介する。 自らの意見をもとに考え、まとめているか。 社会との関わりを意識してまとめているか。
まとめ	クラスごとに話し合いを行い、見学先ごとの班分けを行い、担任に報告する	25	○ 班分けの時に人数が均等になるように、適切に助言する。 積極的に参加し、活動の準備を進めることができるか。
作成推進校	福島県立福島高等学校		